

# イーサネットへのDLSwwイーサネット設定

## 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

この例では、イーサネットにデータリンク スイッチング ( DLSw ) イーサネットを設定します。

次の[ネットワーク図](#)では、次の IP 接続の存在が想定できます。

- ネットワーク 132.146.251.0 を指すスタティック ルート A および 132.146.252.0 を指すルータ B、または
- 設定済みのネットワークで動作するダイナミック ルーティング プロトコル。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

## [設定](#)

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

## [ネットワーク図](#)

このドキュメントでは次の図に示すネットワーク

## [設定](#)

このドキュメントでは次に示す設定を使用しています。

| ルータ A   |
|---|
| <pre>hostname RouterA dlsw local-peer peer-id 132.146.252.1 dlsw remote-peer 0 tcp 132.146.251.1 dlsw bridge-group 1  interface Ethernet0  ip address 132.146.252.1 255.255.255.0  bridge-group 1  interface Serial0  ip address 132.146.250.2 255.255.255.0  bandwidth 336  bridge 1 protocol ieee</pre> |
| ルータ B   |
| <pre>hostname RouterB dlsw local-peer peer-id 132.146.251.1 dlsw remote-peer 0 tcp 132.146.252.1 dlsw bridge-group 1  interface Ethernet0  ip address 132.146.251.1 255.255.255.0  bridge-group 1  interface Serial0  ip address 132.146.250.1 255.255.255.0  bandwidth 336  bridge 1 protocol ieee</pre> |

注: この設定では、`source-bridge ring-group` ステートメントは使用されません。

## [確認](#)

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## [トラブルシューティング](#)

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)